

8-4-2 生産性向上WG

1. WG 活動目的

建設事業全体の生産性向上を目指したDX推進に向けた国交省によるBIM/CIM原則適用に基づき i-Construction（建設生産性改革）を推進する。

特に、BIM/CIMを3次元情報連携におけるマネジメントツールとして、また国際標準としての活用など、これからの建設生産・管理システムの構築に向けた産学官一体となった取り組み検討を実施する。

- (1) BIM/CIM活用に関する技術動向等の情報収集と共有
- (2) ICTおよびBIM/CIM活用促進
- (3) 会員企業の技術者教育の促進

2. 主な活動の記録

BIM/CIM活用促進に向けた各種委員会の活動等に参加し、それを通じ会員に情報共有を行った。また、BIM/CIM原則適用後のフォローアップ調査のとりまとめを行うために各分野の委員からなるSWGを作って検討を行って進めた。さらに、歩掛作成に向けて見積り作成のための調査等を国交省本省と調整しつつ行った。そのため、ダム、砂防等の新たな事業分野の委員につて補強を行った。

- (1) 生産性向上WGの開催
 - a) 令和5年度の実施体制、中期活動報告(R4)及び活動計画(R5)、国交省BIM/CIM関連委員会及び東京大学寄付講座等の対応状況、DX特別推進本部の活動状況等を情報共有した。
 - b) 令和5年度からのBIM/CIM原則適用を踏まえ、その実施状況のフォローアップ調査の検討、及び歩掛作成のための「標準的な見積様式」の作成とその国交省本省への提供と意見交換を行うなど、推進のための対応を行った。
 - c) BIM/CIMの成果品作成要領(案)の改訂に向けた会員企業へのアンケート調査ととりまとめを行ってBIM/CIMの活用推進を支援した。
 - d) 3D設計について、国交省本省技術調査課と打ち合わせを行って(3/21)、今後の建設コンサ

ルタントの3D設計への取り組み方針、ロードマップについて議論した。

- e) 各種委員会情報はDCBを活用し、適宜、情報共有を図った。
- (2) BIM/CIM関連の対外活動への参加
 - a) 令和5年度開催のBIM/CIM推進委員会(第10回R5/8/10、第11回R6/2/22)及び幹事会など、原則適用にかかるPTへの委員派遣・検討支援を行った。
- (3) i-Construction、ICT導入推進に向けた活動
 - a) ICT導入協議会への参加(第17回R5/9/14、第18回R6/3/21)。関係基準類の改訂情報及びICT施工における各種ユースケースの共有。
 - b) コンクリート生産性向上検討協議会への参加(第13回R6/2/28)。関連する要素技術の標準化検討状況について情報共有した。
- (4) 他団体等との関連技術情報の共有
 - a) i-Constructionシステム学東大寄付講座
 - b) bSI、bSJ
 - ① 第13回及び14回国際土木委員会に専門委員として委員を派遣。
 - c) 日本橋梁建設協会
 - ① 令和5年4月に橋建協と共同宣言をしたデータ連携に対し、橋建協・建コン協およびソフト開発に関わるOCFの3者で構成するデータ連携活用検討wgを開催し、データ連携における課題抽出・対策を検討し、実効性の向上を図った。
 - ② BIM/CIM推進委員会下部の橋梁製作システムPTで国交省を交えた検討を実施し、試行による事業課題を含めた議論を行った。

3. 次年度の活動について

国土交通省が推進するBIM/CIMの活用をさらに推進するために原則適用のフォローアップ調査、見積り調査等の結果をもとに、さらに有効に活用したデータ連携・共有による受発注者の生産性向上を共に目指す。

(生産性向上WG WG長 富田 邦裕)